

**共産党****質問1**  
答弁**公設公民館の自主講座を継続へ**

運用見直しが検討されている公民館での自主講座は、利用者の声を丁寧に聞くとともに継続するべきではないか。

利用者の意見を聴きながら、見直しの趣旨を踏まえつつ検討を進め、納得いただけるよう丁寧な説明を行っていく。

**質問2**  
答弁**がん検診の完全無料化を実施すべき**

70歳以上のがん検診は無料となり、2割も受診が増えている。がん検診の無料化を全年齢に拡充すべきでは。

**熊本自民****質問1**  
答弁**市街化調整区域内の集落内開発制度の見直し**

法改正に伴い、災害リスクの高いエリアは集落内開発制度の対象地域から除外とあるが、対応策の付加条件は。

3m以上の浸水想定エリアを集落内開発制度指定区域から一律に除外せず、安全上及び避難上の対策<sup>(※1)</sup>の実施を条件に付すことを想定。

**質問2**  
答弁**都市計画区域の線引きの見直し**

川尻駅・富合駅の周辺地域を市街化区域に編入すべきであると考えるが、市長の考えは。

**自民党****質問1**  
答弁**中心市街地におけるにぎわい創出の取り組み**

上通北口で、AIデマンドタクシーやシェアサイクルの拠点化を図り、路線バスの新設を検討できないか。

AIデマンドタクシーやシェアサイクルについては関係者と協議を行う。路線バスについては代替え策を含め可能性を探る。

**質問2**  
答弁**河川及び管理用通路は適正に管理を**

健軍川や藻器堀川など、住宅街を流域を持つ河川の除草管理は、地域の要望を踏まえ適切に対応いただきたい。

河川除草は、流下断面の確保や景観、防犯など、市民生活への影響が大きいため、地域と情報共有しながら河川の維持管理に努める。

**公明党****質問1**  
答弁**本市の防災士を掌握し活用へ**

本市在住の防災士の掌握ができていない。防災対策強化に向け、防災士の掌握と活用につながる取り組みを。

来年度から防災士資格取得後のフォローアップ研修の開催を予定しており、スキルアップやネットワークづくり、校区防災連絡会などとの連携強化を図る。

**質問2**  
答弁**学校トイレ洋式化計画期間(約10年)の短縮**

今のトイレ洋式化計画は約10年かかる。メーカーの新技術導入など、加速化の実現に向けた期間短縮の考えは。



新技術のさらなる導入を検討するとともに、国の財政支援制度を効果的に活用し、学校トイレの洋式化の早期完了を目指す。

**市民連合****質問1**  
答弁**子どもたちの教科書などの取り扱いについて**

教科書などが重く児童・生徒の通学時の身体的な負担あり。軽量化に向けて、置き勉の徹底などの取り組みが必要。

保護者や児童生徒への置き勉に関する周知の徹底、各学校への宿題の出し方などの参考事例の紹介など、負担を軽減する取り組みを推進する。

**質問2**  
答弁**幼児の虫歯罹患率の改善に向けて**

子どもたちの虫歯を減らすために、出産前後の母親などへの虫歯予防の啓発や歯科医師会などとの連携強化が必要。

動画を作成するなど啓発を工夫するとともに、新設する口腔保健支援センターが中心となり歯科医師会などとの連携強化に取り組む。

**熊本自民****質問1**  
答弁**安全で快適な自転車の歩道通行**

道路交通法の周知徹底や植樹帯の撤去など、自転車と歩行者が安全安心に通行できる歩道幅員の有効的活用を。

自転車条例の改正や支援を通じて自転車交通ルールの浸透を図るとともに街路樹と調和のとれた安全な歩行空間となるよう取り組む。

**質問2**  
答弁**公設公民館の自主講座廃止**

自主講座を生涯学習サークルへ移行に猛反発。廃止することは、生涯学習の理念に反するのではないか。

公民館をより多くの人が利用しやすい施設とするための見直しであり、利用者のご意見を十分に聴きながら丁寧に進めていく。

**市民連合****質問1**  
答弁**江津湖にあった「野鳥の森」破壊の原因**

野鳥の森の破壊は食い止められなかったか。また、野鳥の森付近の宅地開発工事に、市は補助金を出したのか。

お尋ねの土地は事業認可区間などではなかったため、用地取得は行わなかった。擁壁工事には復興基金を活用し補助金の交付を行った。

**質問2**  
答弁**「野鳥の森」を復活してもらいたい**

ふるさと納税の返礼品の対象に野鳥の森の復活など環境保全事業を加えることはできないか。

環境保全への関心も高まっていることから、環境保全事業に活用できるふるさと納税のメニューについて検討を進める。

**市民連合****質問1**  
答弁**児童虐待防止と家庭養育環境の確立**

フォスターング機関や児童家庭支援センターの事業所増設について、市長の考えは。

今年度から開始した事業であり、実績や効果などについて検証し、児童虐待の相談状況の推移を考慮したうえで検討する。

**質問2**  
答弁**全ての小中学校にバリアフリー化を**

文科省のバリアフリー整備計画をふまえ、本市では全ての小中学校のエレベーター設置にどう取り組むのか。

来年度はエレベーターの整備校数を増やす予定であり、利用者の実情に配慮したバリアフリー化を効率的かつ迅速に進めていく。

**おしゃれて  
ひごまる**

安全上及び避難上の対策<sup>(※1)</sup> … 3mの浸水想定エリアでの対策例については、敷地のかさ上げ、建築物の二階建て、平屋建てにあっては、屋根への避難口付の小屋裏を設けるなどを想定している。